

(様式4)
令和7年11月25日

令和7年度 第2回 大阪市立港晴小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立港晴小学校
校長名 田村 亮

日 時	令和7年11月25日	
場 所	港晴小学校 会議室	
出席者	<p>委員など 桜友 謙（港晴地域活動協議会委員長） 井本 和香（港晴地域主任児童委員） 南 憲治（港晴地域民生委員長）西村 有里（築港中学校 校長） 安本 隆洋（現PTA会長） 白石 久美（現PTA 副会長）</p>	
校園	田村 亮（校長） 西岡 肇（教頭）	
区役所	村上 真義（教育担当課長）	
議題	<p>(1) 令和7年度「運営に関する計画・自己評価（中間）」について (2) 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果分析について (3) 学校のようす (4) 区役所より (5) その他</p>	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 令和7年度「運営に関する計画・自己評価（中間）」について	<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">縦割り班活動によるドッジビー大会や港晴フェスティバルなどを通し、高学年が中心となって学年間で役割を分担し、協力して活動する機会が多く設けられている。校内アンケートの「学校は楽しいですか」の設問では、多くの児童が肯定的に回答している。今後も肯定的回答が100%となることを目指して取り組んでもらいたい。いじめアンケートの結果を基に、児童への丁寧な聞き取りを実施している。引き続き、学校全体として安心して話ができる環境づくりに努めてもらいたい。 <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none">学力面では、全教員が研究授業・公開授業を実施し、授業改善に向けて研鑽を重ねている。子どもたちの成長のために研究に取り組む姿勢が見られる。体力面では、縦割り班によるドッジビー大会や、学年対抗の大縄記録会といった活動を企画し、休み時間を利用して運動に取り組む機会が確保されている。 <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none">「心の天気」への入力を通して、子どもたちの心の変化を把握する取り組みが継続されている。ICT機器を学習場面で積極的に活用し、学びの

		<p>充実につながっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの学力向上に向け、教員が熱心に授業準備に取り組んでいる一方で、教員の長時間労働が懸念される。今後も教員の心身の健康管理に配慮していただきたい。
(2)	令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果分析について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科に関する調査結果では、「根拠を示して自分の考えを記述する力(国語)」「文章問題や複数条件を整理して解決する力(算数)」「自分の言葉で説明する力(理科)」に課題が見られる。授業において、自分の考えを論理的に表現する機会を増やしていく必要がある。 ・質問紙調査では、読書に関する項目で否定的な回答が多かった。図書室を活用した読書習慣の定着や、学級で読書にふれる時間を増やすことが必要である。
(3)	学校のようす	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊行事をはじめとする今年度の学校行事を通して、学年集団だけでなく学校全体として大きな成長が見られた。来月には大縄記録会を予定しており、児童は休み時間を中心に練習に励んでいる。技能の向上に加え、思いやりの心が育つており、集団としての高まりやつながりの深さが感じられる。
(4)	区役所より	<ul style="list-style-type: none"> ・令和11年の統廃合に向け、通学路の見直しを進めている。通学路に危険箇所があれば、引き続き情報提供をお願いしたい。
協議資料	<p>○令和7年度「運営に関する計画・自己評価(中間)」 ○令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果</p>	
備考	<p>傍聴者0名</p>	